

## ■活動概要

2023年は、岐阜県美術館と共催した展覧会「IAMAS ARTIST FILE #09『<方法主義芸術>—規則・解釈・(反)身体』」の実施に力を注いだ一年だった。これはタイムベースドメディア・プロジェクトの主な取り組みである。また、連動した事業として「方法主義」をテーマにした岐阜おおがきビエンナーレ2023も開催された。両イベント共に、大久保美紀准教授がディレクターを務め、前田はプロジェクトメンバーおよび岐阜おおがきビエンナーレ実行委員会の代表として、企画立案から運営まで参加した。これらのイベントは、三輪真弘教授の本学退任記念イベントにも位置付けられた。10月から12月にかけて開催されたIAMAS ARTIST FILE #09には、関連イベントを含め約3800名が訪れた。岐阜おおがきビエンナーレ2023は、シンポジウムと再演コンサートを含む4日間のイベントで、約150名が会場を訪れ、1000名以上がシンポジウムをオンラインで視聴した。2000年から2004年の芸術運動「方法主義」を再考する貴重な機会を提供できた。

個人研究では特筆すべき発表があった。2022年に国立国際美術館で開催された中之島映像劇場「前田真二郎レトロスペクティブ」でプレミア上映された長編映画《日々"hibi"AUG》が、山形国際ドキュメンタリー映画祭2023のインターナショナル・コンペティション部門に選出されたのだ。今年は、世界の112カ国と地域から合計1132作品が応募され、その中からわずか15作品が選ばれたのだが、その1本に、拙作、《日々"hibi"AUG》が選出されたことは、非常に大きな栄誉であった。上映に向けて、英語字幕版の上映用DCPの制作に少なくない時間を割き、本番の映画祭では、無事に上映とアフタートークを行うことができた。

## ■事業

### 1.

[タイムベースドメディア・プロジェクトの取り組み]

IAMAS ARTIST FILE#09 <方法主義芸術>—規則・解釈・(反)身体

2023/10/11-12/24 岐阜県美術館

出品作家: 足立智美 中ザワヒデキ 松井茂 三輪真弘

主催: 岐阜県美術館、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

総合ディレクター: 大久保美紀

協力: IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト

助成: 公益財団法人 花王 芸術・化学財団

関連イベント:

方法作品の再演

2023/12/24 岐阜県美術館 多目的ホール

出演: IAMASタイムベースドメディア・プロジェクト

中ザワヒデキ、足立智美、三輪真弘

### 2.

[岐阜おおがきビエンナーレ実行委員会の取り組み]

岐阜おおがきビエンナーレ2023 <方法/Method>

2023/12/07-10

主催: 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 岐阜県 大垣市

総合ディレクター: 大久保美紀 (IAMAS准教授)

協力: IAMASタイムベースドメディア・プロジェクト

助成: 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

12/07 中ザワヒデキによる基調講演 シンポジウム「方法」

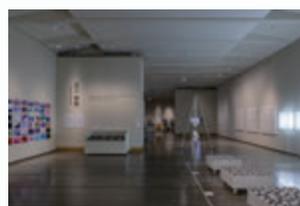
12/08 鼎談 岡田暁生×三輪真弘×吉岡洋「真理と方法、再び」

12/09 三輪真弘作品の再演コンサート・トークイベント

(会場: 岐阜県美術館)

12/10 篠原資明 × 松井茂 対談「方法と瞑想」

方法マシン同窓会「来れ、集え、マシンとなれ〜!」



岐阜県美術館 4名の過去作の展示



関連イベント「方法作品の再演」



ホールA でのシンポジウム



再演コンサート (岐阜県美術館)



2023/07/21

S/U/P/E/R DOMMUNE

『三輪眞弘がひらく「ありえるかもしれない、ガムラン」』

MUSICプログラムにて、無観客LIVE配信作品「三輪眞弘祭一清められた夜」を、  
“遅延”配信（2020年度第20回佐治敬三賞受賞作品）

※映像監督：前田真二郎



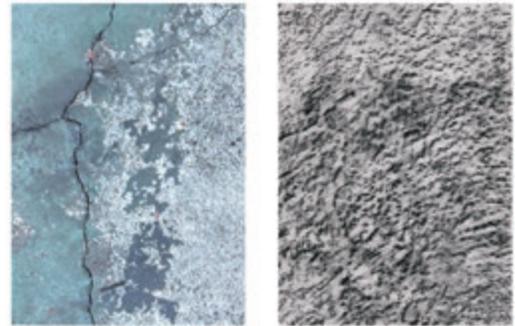
2023/05/02-13

安喜万佐子展

光の行進 ーうつされた時・うつされない像

ギャラリー16(京都)

展示された写真・映像作品を監修。コラボレーション作品の出品



[作品制作]

2023.12

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 《Dolphins》

Tokyo, 2023.12.30 / FHD-digital 5'00"

シリーズで継続している指示書をもとに制作する短編映画を制作

KG+

2023.09

日々"hibi"AUG[英語字幕版]

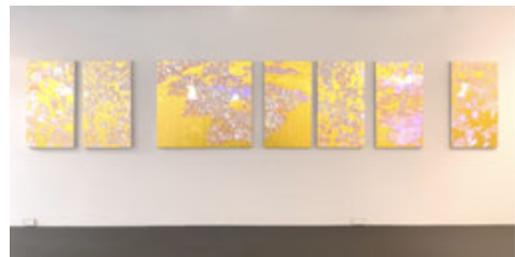
FHD-digital DCP 120'00"

光の行進 ーうつされた時・うつされない像  
国際写真展・KYOTO GRAPHIE / KG+ に参加する展覧会  
KG+ pick up のカテゴリーに選出

2023.04

うつされた時・うつされない像 – 地表と記憶を集め、絵画にする

FHD-digital 3'45" (loop) 2023 (映像:前田真二郎)



光の行進 Procession of Light

UHD-digital 2'10" (loop) 2023

光の行進 Procession of Light  
安喜万佐子の金箔絵画への映像マッピング

## ■ 出版／テキスト

2023.10

配信芸術論 [単行本] 三輪眞弘監修 岡田暁生編

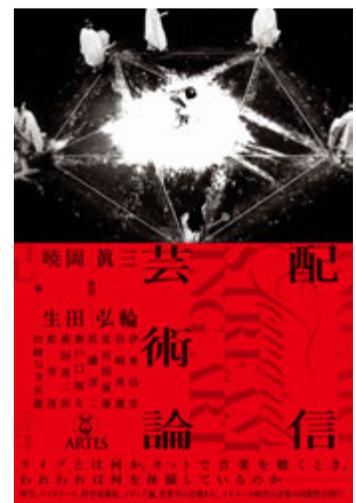
発行：アルテスパブリッシング

著者 [五十音順]：

伊東信宏、岩崎秀雄、佐近田展康、佐藤淳二、  
瀬戸口明久、前田真二郎、松井茂、山崎与次兵衛

P182 – P212

第III部「立ち会うこと」と配信芸術——映像作家 前田真二郎氏を囲んで



ISBN 978-4-86559-282-5 C1073

2023.10

山形国際ドキュメンタリー映画祭の公式ガイドブック  
SPUTNIK – YIDFF Reader 2023 | No.4  
世界の不確かさを発見するために『日々“hibi” AUG』  
前田真二郎監督に聞く／聞き手：村山匡一郎



映画祭会場でフリーペーパーで配布

YIDFF オンライン公開

[http://www.yidff-live.info/wp-content/uploads/2023/10/SPUTNIK2023\\_04.pdf](http://www.yidff-live.info/wp-content/uploads/2023/10/SPUTNIK2023_04.pdf)



2023.03

情報科学芸術大学院大学紀要 第14巻

特集2 IAMAS ARTIST FILE #08 福島諭「記譜、そして、呼吸する時間」

特集3 IAMAS ARTIST FILE #07 「ウィデオー／からだと情報」

前田が企画に関わった2つの展覧会が、

紀要の特集に生まれ、複数のテキストが掲載

2023.01

第23回中之島映像劇場 (2022)

「光の布置 —前田真二郎レトロスペクティブ—」

- 1 第23回中之島映像劇場 光の布置 —前田真二郎レトロスペクティブ—
- 2 イメージを手放す —「即興映画」についての覚書 加藤初代
- 3 90年代の“私” —ダイアログとプラクティス 林ケイタ
- 4 映像への多様なアプローチ —「前田真二郎」についての少しの覚書 齋藤正和
- 5 作者の消去 —「BYT」という自己変容トレーニング 松井茂
- 6 星座考 —あるいは前田真二郎の〈海〉について 田中晋平



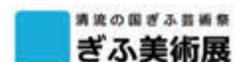
当日配布資料の公開

国立国際美術館 WEBページ

[http://www.yidff-live.info/wp-content/uploads/2023/10/SPUTNIK2023\\_04.pdf](http://www.yidff-live.info/wp-content/uploads/2023/10/SPUTNIK2023_04.pdf)

## ■社会活動

- ・日本映像学会中部支部幹事
- ・ぎふ美術展 企画委員
- ・岐阜の旅フォトコンテスト2022 特別部門「私の関ヶ原」審査員
- ・LED. 実行委員会 運営委員・審査員



LED.実行委員会 サカエチカ 旧クリスタル広場